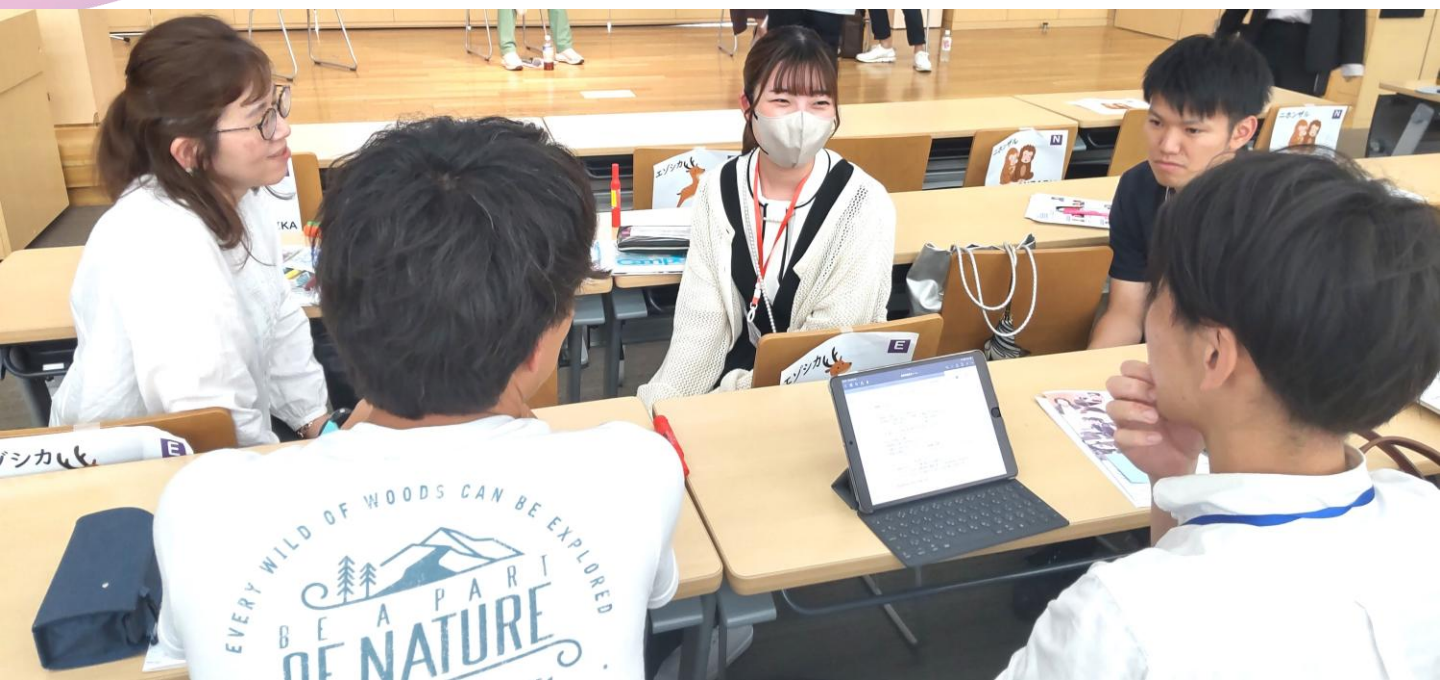




特定非営利活動法人アスクネット 2024年度 年次報告書

子どもと大人が共に学び、
共につくる社会を目指して

アスクネットのあゆみ

1999 愛知私学教育ネットとして活動開始

2001 愛知市民教育ネットに改名
特定非営利活動法人格取得

2006 アスクネットに改名

2009 代表交代

2015 第5回キャリア教育アワード
経済産業大臣賞受賞

2017 5か年中期ビジョン開始

2019 代表交代

2022 認定NPO法人取得

2022 2030ビジョン開始

2025 PLIJ STEAM・探究グランプリ
特別賞受賞

2001 市民講師ナビ事業開始

2004 全国教育コーディネーター交流会開催

2006 教育CSR事業
「アイシン環境学習プログラム」開始

2008 経済産業省
キャリア教育民間コーディネーター育成・
評価システム開発事業

2010 高校生公募型
「マイチャレンジインターンシップ」開始

2012 愛知県教育委員会委託
キャリア教育コーディネーター活用事業開始

2015 高浜市 学習等支援事業「ステップ」開始

2016 名古屋市 学習支援コーディネート事業
「子どもの縁の下サポーター」開始

2018 教育関係者向けイベント「ENGINE」開始

2020 高校生探究プログラム「SPIRAL」開始

2021 名古屋市子ども会アシストバンク事業開始

2022 「ENGINE」東京会場 初開催

2023 「ENGINE」関西会場 初開催

ミッション・事業実施の方針

ミッション

地域の学校・市民・企業・行政・各種団体などと協力して、互いが学びあい育ちあう共同体づくりを進める。そこでの出会いをきっかけとして、人々とりわけ子どもたちが夢や目標をもって挑戦し、その中で成長していく学習を創造する。これらの多様な「出会い」と「挑戦」の機会を通じて、自らの人生を主体的に切り開き、社会をよりよくしていく主体者へと成長する過程を支援することで、誰もが心豊かに暮らせる社会を実現し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

事業実施の方針

(1) すべてのセクターの人たちの学びのOSを更新する

主軸事業となる学校へのキャリア教育をより発展的に、またキャリア教育が持続可能に展開されるよう、学校内の体制構築に向けたサポートを行う。同時に、予測不可能なこれからの社会の中で、子どもにかかわるすべての人が、学び続ける必要性を感じ、学びあい育ちあい共に地域を創るよう、「学び」に対する概念を更新する役割を担う。

(2) 学校と地域をつなぎ、変革を促進するキャリア教育コーディネーターの育成

キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会等、全国の教育団体と連携を図り、教育活動に対しての成果を可視化する。同時に、「若者がリードし、誰もが参画できる共創社会」の実現に向けた学びあいのコミュニティを創造し、人々の変革を促進するキャリア教育コーディネーターの育成、ネットワークの強化を目指す。

(3) 主体的な18歳の育成モデルの進化と誰一人取り残さない社会づくりへの取り組み

主体的な18歳を育成するために、インターンシップ事業やSPIRAL事業等を展開してきた。これらの経験を活かし、さらにより効果的に展開できるよう努めるとともに、機会格差を是正するため、一部の参加者を対象とするのではなく、必要と感じる子どもたちに広く届けられるよう、パートナーシップを活かした仕組みづくりを目指す。また、学習支援事業の活動から、今後も、子どもたちの声にしっかり向き合い、福祉的な役割も必要に応じて取組んでいく。

(3) 構造的不均衡の是正に取り組んでいく

キャリア教育を推進していくため、関わる人たちへの投げかけだけではなく、「教育」の在り方を問い直し、構造的な不均衡に挑み、本質的解決に向けた活動に取り組む。

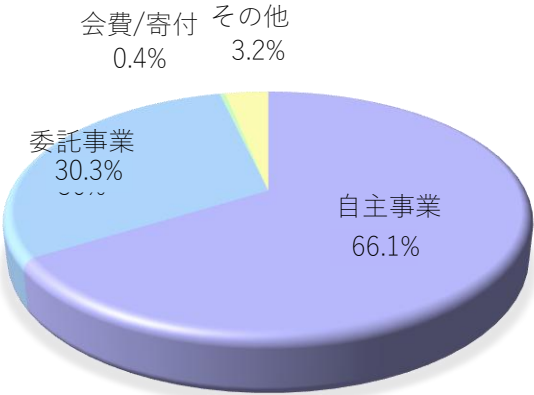
事業概況

2024年度事業決算

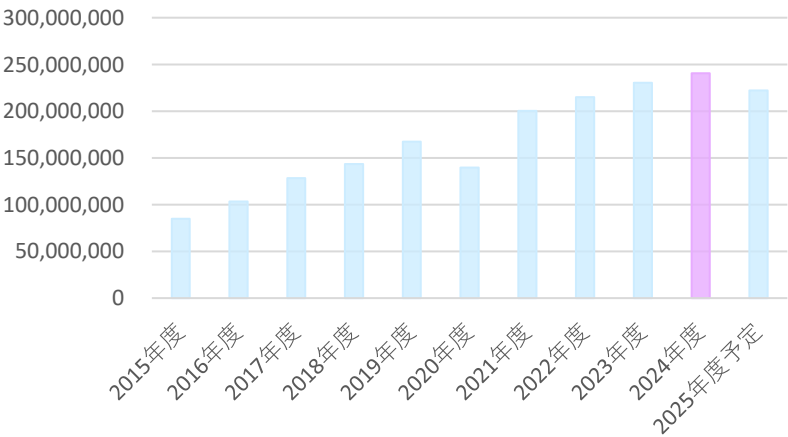
学びあい育ちあう共同体づくりに関する知識、経験の交流の場提供事業			
自主事業	市民講師ナビ事業	142,626,385円	p.4
	教育CSR推進事業	9,245,253円	p.5
委託事業	学習支援事業（高浜市）	17,014,426円	p.6
	名古屋市中学生の学習支援事業コーディネート業務（名古屋市）	2,750,000円	p.7
	キャリア教育コーディネーター活用事業（愛知県）	14,090,340円	p.8
	モノづくり魂浸透事業（愛知県）	5,812,743円	p.9
	技能五輪・アビリン理解促進事業（愛知県）	2,757,953円	p.9
	キャリアプラン早期育成事業（愛知県）	4,742,219円	p.10
	子ども会活動アシストバンク事業（名古屋市）	13,314,400円	p.11
	高校生SDG s インタビュー事業（安城市）	1,991,000円	p.12
	地域と連携した郷土教育・キャリア教育推進事業（三重県）	4,123,900円	p.13
	産学連携地域活性化事業（愛知県）	1,872,010円	p.14
	森林・林業の魅力伝道事業（愛知県）	4,340,911円	
学びあい育ちあう共同体づくりに関する行催事の運営協力事業			
自主事業	教育イベント推進事業	275,000円	
	教育団体協働推進事業	258,500円	
学びあい育ちあう共同体づくりに関する普及啓発、情報発信事業			
自主事業	キャリア教育コーディネーター育成事業	3,154,600円	p.15
自主／委託	出合いと挑戦の教育普及啓発事業	3,513,300円	
管理部門・その他			
	会費	748,000円	
	寄附金	184,000円	
	その他	7,736,293円	

計 240,551,233円

事業財源内訳



事業規模推移



事業概要説明

社会で働く人に自分の経験や考えを伝えてもらう職業講話や、仕事を通じて社会や職業への理解を深め、将来に活かすインターンシップなどを実施しています。

ニーズに合わせたプログラムの企画や、探究的な学習、年間を通した授業カリキュラムの設計なども行っています。



私立高等学校インターンシップ実施状況
【2024年度実施校】

- | | |
|-----------|-----------|
| 愛知淑徳高等学校 | 愛知黎明高等学校 |
| 安城学園高等学校 | 市邨高等学校 |
| 桜丘高等学校 | 椋山女学園高等学校 |
| 誠信高等学校 | 聖霊高等学校 |
| 高蔵高等学校 | 同朋高等学校 |
| 東海学園高等学校 | 豊川高等学校 |
| 豊橋中央高等学校 | 名古屋高等学校 |
| 名古屋大谷高等学校 | 南山高等学校女子部 |

継続してプログラムを実施している学校において、プログラム参加希望の生徒の増加、参加対象生徒の拡大が進み、プログラム参加生徒数が昨年度の人数を上回り、過去最高となりました。

特に継続して実施している学校では、年を追うごとに関わっていただく教員も増え、プログラム内容や運営方法について相談・改善をすることで、より多くの生徒にプログラムを届けることができています。

中学校～大学における
社会人講座実施状況

22校
4,183名

担当者所感



楠谷 彩乃

多様な社会人講師の皆さま、インターンシップ受け入れ事業所の皆さまのご協力と、先生方のご尽力により、2024年度は3,000名を超える子どもたちが出会いと挑戦の機会を得ることができました。急速に変わる社会の中で、キャリア教育の必要性もますます高まっていることを実感しています。今後も、様々なセクターの皆さまと共に、地域の子どもたちに「出会いと挑戦の教育」を届けていきたいです。

教育CSR事業 (アイシン環境学習プログラム)

事業概要説明

23校
1,690名

株式会社アイシンをはじめとするアイシングループのご支援のもと、小学4～5年生を対象に1年間、それぞれの学校で環境学習プログラムを実施しています。アイシン環境学習プログラムは、4つのstep「体験講座やフィールドワーク」、「愛・シンパシーワークショップ」、「エコアクション（エコ実践）」、「エコトークセッション（発表会）」という一連のプログラムを通じて、子どもたちのより深い理解を目指しています。



アイシングループ計10社と協働し、23校、1,690名の児童にプログラムを提供し、8月には愛・シンフォニーコース（プログラム実施校教員向けの研修会）を実施しました。

■支援企業一覧

株式会社アイシン
アイシン機工株式会社
アイシンシロキ株式会社

アイシン高丘株式会社
アイシン辰栄株式会社
アート金属工業株式会社

アイシン化工株式会社
豊生ブレーキ工業株式会社

アイシン開発株式会社
株式会社アドヴィックス

■実施校一覧

安城市立桜井小学校
蒲郡市立塩津小学校
西尾市立津平小学校
田原市立童浦小学校
豊川市立一宮西部小学校
豊田市立中山小学校

安城市立三河安城小学校
刈谷市立富士松北小学校
西尾市立花ノ木小学校
半田市立横川小学校
豊川市立千両小学校
豊田市立根川小学校

岡崎市立美合小学校
刈谷市立富士松東小学校
西尾市立三和小学校
碧南市立西端小学校（4年）
豊田市立飯野小学校
上田市立東塩田小学校

岡崎市立本宿小学校
刈谷市立双葉小学校
知立市立猿渡小学校
碧南市立西端小学校（5年）
豊田市立寿恵野小学校
（順不同）

担当者所感



山田 将人

2024年度は、くらしや水辺（生き物）、産業など、学校の状況やねらいに合わせて多様なプログラムを実施しました。学校独自の取り組み（エコアクション）も多様になっており、発表会（エコトークセッション）の形式や発表内容も様々でした。児童たちが地球で起こっている環境問題と自分たちのくらしが繋がっていることに気づき、自分たちで行動したり、発信したりする姿が印象的でした。次年度も多くの児童が環境に課題意識をもち、行動できるようにサポートしていきます。

学習支援事業 高浜市学習等支援事業 「ステップ」「ステップ・ジュニア」

中高生対象
「ステップ」

事業概要説明

高浜市在住の主に生活困窮世帯に属する児童生徒を対象とした学習等支援事業を実施しました。小学生対象の「ステップ・ジュニア」は毎週火曜日と土曜日に、中高生対象の「ステップ」は毎週土曜日に、高浜市いきいき広場で開催しました。

全63回
登録36名
のべ781名参加



ステップ・ジュニアでは、宿題や教材への取り組みを通じた学習支援に加え、多彩な体験活動や地域の方々との交流の場を設けました。

ステップでは、学習の支援だけではなく、学校生活・進路に関する相談やインターンシップ・キャリアに関する講座を実施し、進路選択の幅を広げられるようサポートしました。

学習の支援については今年度も大学生・社会人ボランティアを中心に、子どもたちにとっても幅広い年代とコミュニケーションをとる機会となりました。

小学生対象
「ステップ・ジュニア」

全106回
登録17名
のべ737名参加

担当者所感



高田 郁弥

今年度で本事業を受託して10年目を迎えました。2025年度からの地域団体への引継ぎを視野に入れ、地域で子どもたちを支える仕組みづくりに挑戦した1年でした。

特に力を入れたのは地域連携です。地域団体の協力を得て、野菜栽培から調理までを行う食育プログラムを実施したり、普段、お世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを伝える「感謝祭」を開催したり、地元の文化・芸術団体との連携により、伝統工芸や芸術鑑賞など、貴重な体験の機会を数多くつくることができました。

子どもたちには、この場で積んだ一つ一つの経験を糧にこれから歩いてほしいと思います。

名古屋市学習支援コーディネート事業

事業概要説明

家庭環境や学力面で高校進学に課題を抱えるひとり親家庭、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生を対象として、別に運営する「名古屋市中学生の学習支援事業」における学習支援事業受託者間の連携強化及び子どもの学習支援事業にかかるネットワークの構築をはかりました。なお、本事業は、株式会社スターシャル教育研究所とコンソーシアムを組み、「子ども縁の下サポーター」として運営を行いました。

学習支援の実施

27事業者
150会場
1800名



2024年度も引き続き、27事業者が全150会場（定員1800名）で学習支援を実施しました。アスクネットは、学習支援の運営関係者や学習サポーター等を対象とした研修の実施を担当し、延べ293名が参加しました。研修内容としては、学習支援の現場での様々な特性を持つ子どもたちや高校進学後以降を意識した関わり方などをテーマとしました。また、参加者同士が話し合う時間を作るなど、学びを現場で実践できるように意識した研修を運営しました。

支援者向け研修

全10回
293名

- 事業実施責任者 連絡会 2回
- 運営責任者 研修会 2回
- 学習サポーター 研修会 3回
- 学習サポーター 交流会 2回
- 全体会 1回

担当者所感



仲井 達哉

今年度の研修全体のテーマは、「支援の先を意識する」ことでした。講師の皆さまや研修にご参加いただく事業実施責任者・運営責任者・学習サポーターの皆さまのご協力をいただきました。

本事業は中学生を対象としていますが、学習支援に来る子どもたちの人生は続いていくので、中学卒業後や高校さらにその先を見据えて支援をしていくことの必要性を意識できるような研修づくりを心がけました。

次年度も「支援の質を向上させること」を意識しながら研修運営を行っていきます。

愛知県キャリア教育コーディネーター活用事業

事業概要説明

愛知県教育委員会より指定を受けた県立高等学校18校をモデル校とし、キャリア教育コーディネーターを配置することで、モデル校におけるキャリア教育の促進を図ることを目的とした事業です。主に「インターンシップ等体験活動の連絡調整・企画・実施」、「教員を対象としたキャリア教育に関する研修会等への講師派遣及び企画・運営支援」、その他キャリア教育の支援を実施しました。

学校名	参加生徒数	受入事業所数
城北つばさ高等学校	12	6
瀬戸西高等学校	46	22
東郷高等学校	294	23
犬山総合高等学校	16	1
一宮南高等学校	114	21
五条高等学校	7	5
東浦高等学校	0	0
武豊高等学校	17	9
豊田東高等学校	24	11

学校名	参加生徒数	受入事業所数
豊田南高等学校	39	24
豊田高等学校	32	11
岩津高等学校	0	0
知立東高等学校	728	29
豊橋西高等学校	200	5
蒲郡高等学校	11	4
新城有教館高等学校	338	20
守山高等学校	141	87
幸田高等学校	236	40

今年度は、例年求められるオーソドックスなインターンシップに加え、近年ニーズの高まっている探究学習における情報収集や仮説検証を目的としたフィールドワーク、社会を知ることを中心に学年全体で行うバスツアー、大学と企業の体験を掛け合わせたプログラム等、多岐に渡る体験活動を支援する1年となりました。

ここ数年は学校のニーズに変化が見られるので、先生方と打ち合わせを重ね、ニーズに合わせたプログラムの実施をすることで、キャリア教育の展開を行うことができました。

教員を対象とした研修会は、学校での開催を6回、すべての県立高校を対象とした研修を2回、計8回開催しました。

例年、学校から要望されるテーマは分散する傾向がありますが、学習指導要領の改訂から3年が経ち、学校現場におけるニーズの高まりからか、今年度は「総合的な探究の時間」や「キャリア教育」にテーマが集中しました。

インターンシップ等
体験活動参加人数

18校
2255名



教員を対象とした
研修参加人数

8回
187名



担当者所感



仲井 達哉

今年度も先生方と打ち合わせを重ね、学校ニーズに合うプログラム提案及び支援を行いました。高校生のインターンシップ等の体験活動にあたり、受入先の事業所の皆さまや教員の皆さまにご協力をいただき、ありがとうございました。

モデル校の幸田高校では学校での商業・工業の専門的な学びと企業での実践を組み合わせたデュアルシステム（8日間の企業実習）を実施しており、受け入れていただいている事業所の皆さまからは「地域の子どもたちを地域の企業が将来の地域の担い手として育てていく為にぜひ受け入れたい」と積極的にご協力をいただいています。

今後も、子どもたちが社会に飛び込み、挑戦する場を事業所・教員の皆さまとともに作り続けていきます。

愛知県モノづくり魂浸透事業

(技能五輪・アビリンピック理解促進事業)

派遣講座

67回実施

3,995名

事業概要説明

モノづくり人材の育成を目的とした「モノづくり魂浸透事業（学校派遣事業）」では技能尊重気運を高め、児童・生徒に技能者への憧れやモノづくりへの関心を深めることを目的に、技能五輪メダリスト等の技能者を県内の小学校、中学校及び特別支援学校へ派遣する「派遣講座」、および技能五輪・アビリンピックを目指す選手が行う練習の「見学会」を実施しました。

見学会

5回実施

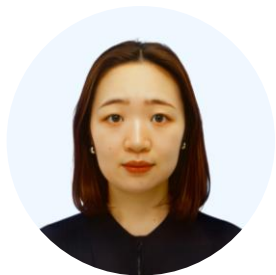
153名



本事業は受託から10年目を迎え、今年度は名古屋市内の中学校で新たに創部されたロボコン部において、夏休み期間中に見学会と派遣講座を実施しました。派遣講座では、西山講師による「夢のロボット実現に向けて」の講座を行い、見学会では株式会社アイシンの協力のもと、技能五輪の職種である移動式ロボット職種の見学を実施しました。これにより、生徒たちは専門的な知識や技術を深く学び、モノづくりへの興味・関心をさらに高める機会となりました。

また、関連事業である技能五輪・アビリンピック理解促進事業も拡大しています。2023年から2026年にかけて、技能五輪全国大会・全国アビリンピックが連続して愛知県で開催されることを受け、大会参加者の裾野を広げることを目的に取り組みを進めました。県内の高等学校や特別支援学校（高等部）などにおいて、大会選手や指導者による講話・実演・実習指導を行う出前講座や見学会を実施し、17校450名の高校生が受講しました。

担当者所感



水谷 早希

本事業は毎年、学校からの申し込みが実施枠を超えるほどの人氣があり、モノづくりへの関心の高さを改めて感じています。

今年度は、名古屋市内の中学校にキャリアナビゲーターが全校配置されたこともあり、中学校での実施が増えたことが印象的でした。また、技能五輪・アビリンピックについて知る教員の方も少しずつ増えており、学校現場での理解が広がっていることを嬉しく思います。

2028年には、技能五輪国際大会が愛知県で開催されます。本事業の講座にも、世界で活躍する選手が関わってくださる予定です。技で輝くカッコいい大人の姿から、モノづくりの魅力や大会への興味・関心がさらに深まるよう、来年度の展開も楽しみにしています。

愛知県キャリアプラン早期育成事業

事業概要説明

キャリアについての意識づけを早期に行うために、各学校で教員との連携を図り、出前講座を実施しました。本事業は「愛知県 男女共同参画推進課」の事業であり、将来社会で活躍をする女性を増やす、という目的で行われています。そのため「男は（女は）こうあるべき」といった、無意識のうちに持っている「固定的性別役割意識」にとらわれない将来の選択ができるよう、各所と連携しながら講座を行いました。

また、キャリアについて考える「みんなの仕事応援ノート」を作成・発行し、各出前講座で活用したり、各校での配布を行ったりしました。

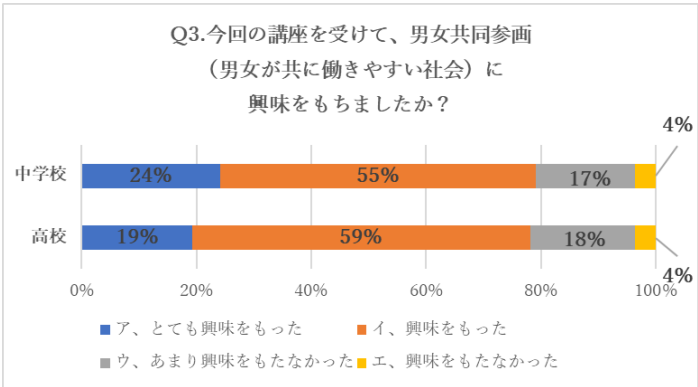
キャリア・男女共同参画に関する出前講座 参加人数

15校
2,683名



本事業では、中学校、高等学校において、キャリアに関する基本的な講座はもちろん、多様な考えがあることに気づく講座や、キャリアコンサルタントの方をお呼びしたり、様々な職業の方をお招きして視野を広げるなど、ニーズに合わせた講座を実施しました。

講座後のアンケートで「男女共同参画」や「男女ともに活躍できる社会」に興味を持った生徒が8割近くとなりました。固定的な性別役割分担意識にとらわれることなく、様々な仕事への興味・関心を持ち、幅広い進路・職業を選択することを考える機会とするという本事業の目的につながったと考えています。



担当者所感



杉原 恵

今年度4年目を迎えた本事業。今年度の傾向として、中学校については、「幅広い職業を知る機会としたい」という要望が多く、様々な職種の方々にご登壇いただきました。

高等学校については、工科高校での実施が多く、高卒就職する生徒が多いことから、卒業生が在籍する企業や学科に関連する企業へのご依頼が多くなりました。こうした複数名の講師を希望される場合は、ジェンダーバランスができるだけ偏らないように考慮して、コーディネートを行いました。

また、中学生向けの高校の説明会において本事業をご活用いただいたケースもあり、生徒だけでなく保護者にも男女共同参画について触れていただくこととなり、本事業のねらいを幅広い世代に広める良い機会になったのではないかと考えています。

名古屋市子ども会活動アシストバンク事業 (名古屋市委託事業)

事業概要説明

子どもと子ども会を中心とした持続可能なコミュニティプラットフォームの共創を目的とし、名古屋市より事業を受託しました。

本事業は、「なごや子どもエンカレッジコンソーシアム」として株式会社ウィーケンと共に、運営を行っています。



子ども会活動における行事の企画や運営などの負担軽減、活動の輪を広げるため地域との連携や、情報発信による子ども会活動の支援等を目的とし、子ども会行事の運営を支える活動アシスタントや、子ども会向けに講座を提供いただける方・団体を募集し、アシストバンクWebサイトなどでご紹介しました。

前年度に引き続きアシストバンク利用率は増加傾向で、より便利に活用していただくためのシステムの見直し・修正を行い、専用サイトの閲覧数は年間19万PV超となりました。

異年齢集団で活動をする子ども会の魅力や本事業について知っていただく共創研修は対象区4区で開催しました。また、アシストバンク登録関係者向けへの研修会（基礎研修）では、新たな企画として、登録事業者の方と子ども会役員が交流できる場を設け、子ども会への理解を深めつつ、アシストバンクをより知っていただく機会となりました。

担当者所感



櫛谷 彩乃

令和6年度は前年度に引き続き4区(天白区、名東区、南区、守山区)を対象とし、すでに長期的な関係を構築出来ている区や、更なる信頼関係を強化する区など、地域ごとの更なる関係構築に向け、各区担当と区子連理事会の皆さまや子ども会役員の皆さまと協力体制のもと、アシストバンク事業の浸透に努めました。また、本事業をより便利にご利用いただくことを目的にシステムの見直し、修正やアシストバンク登録事業者様との協力体制にも力を入れた1年でした。

次年度も引き続き子ども会関係者の方にアシストバンクをより活用いただけるよう、地域の関係者様と共にサポートしていきたいと考えています。

相談件数
537 件

活動アシスタント派遣
68 件

イベント提供者紹介、
子ども会プラン開催
56 件

(令和6年度実績)

イベント提供者、
子ども会行事向け
プランの提供企業・団体
196 件

活動アシスタント登録数
63 件

(令和7年3月末時点)

13事業所

26名

事業概要説明

安城市より委託を受け、安城市のSDGs共創パートナーへの高校生によるインタビューの支援、SDGsフェスタinあんじょうでの高校生によるプレゼン発表の支援を行いました。

本事業は、高校生が「あんじょうSDGs共創パートナー」登録企業等の取材を通じて社会とのつながりを持ち、企業等の特徴的なSDGsの取組みを高校生が広く情報発信することで、持続可能な地域社会の実現を目指すとともに、自らの将来に対する視野を広げることを目指して実施しました。



インタビューの前には事前学習として、ゲームを通してSDGsについての理解を深めたり、取材先企業を調べ、取材後に作成する記事をイメージして質問内容を考えた後、夏休み期間に13の事業所に12名の生徒がインタビューに行きました。また、インタビュー後には、安城市のウェブサイトに掲載する原稿の作成とプログラムの振り返りを行いました。

また、SDGsフェスタinあんじょうにて、インタビュー内容やインタビューを通して知った企業の取り組みや魅力、活動を通して学んだことをプレゼンしました。

参加生徒のSDGsに対する理解度、地元企業に対する興味が向上しただけでなく、今まで知らなかった職業に興味を持ったり、これから大切にしたい考え方を学んだりする機会にもなったとともに、自分たちが学んだことを発信していくことの大切さにも気づきました。

担当者所感



檀谷 彩乃

プログラムを実施する中で、生徒のSDGsに対する意識の変化が見られたのはもちろんのこと、自分達で考えた質問をもって社会人から直接話を聞く体験を通して、視野を広げ、自分自身について考える機会にもなっていました。

本事業が一つのきっかけになり、高校生がSDGsの理解を深め、今後の行動につながり、また、関わってくださった大人の意識も変わって、地域全体で持続可能な社会をつくっていくことができたらと思っています。

地域と連携した郷土教育・キャリア教育推進事業

事業概要説明

実践校

3校

講座参加生徒・児童数

59名

三重県教育委員会より委託を受け、実践校と企業等が連携して学習に取り組めるように、実践校等（市町等教育委員会及び県教育委員会を含む）が連携を希望する企業等と調整を行うコーディネーターや、実践校の教職員や県及び市町担当者等を対象とした郷土教育・キャリア教育の進め方に係る研修会の実施などを行いました。

本事業は、公立小中学校の児童生徒が、地域企業等で活躍する人から提案された答えのない問いに対して、地域を学びの場としながら調査活動を行うなど、他者と協働して解決策を考え、その成果を企業等に提案するとともに、地域で活躍する経営者や職業人の在り方、生き方にふれることを通じて、郷土三重を担う人材を育成することを目的としています。



各実践校において、既存の学校のネットワークでは繋がるのが難しかった外部のリソースと学校を繋ぐことや各校で既に取り組まれている様々な学習をキャリアの文脈で繋げるコーディネーターを行いました。

また、子どもたちがより多くの気づきや新しい視点を得られるように、多様な視点や考え方を持つ大人と直接関わり、相互にやりとりができる環境をつくりました。協力していただいた社会人の皆さまからは、仕事内容のみでなく、これまでのキャリアや、一人の人としての想い、対象地域に対する客観的な視点などもお伝えいただくことで、価値観や考え方、生き方を考えるきっかけも提供していただきました。

担当者所感



櫛谷 彩乃

郷土を深く理解されている地域の方々と協働することができる学校内の推進者（先生方）と、既存の学校のネットワークを越えて新たな繋がりをつくる外部コーディネーターとの両輪が、より深みのある郷土教育・キャリア教育を実現することを強く実感しました。

今後も、各学校で受け継がれてきた郷土教育をはじめとした様々な学習を活かしながら、キャリアの視点を加えたり、新たな繋がりをつくったりすることで、それぞれの地域、それぞれの学校らしいキャリア教育の推進をサポートしていけたらと思います。

愛知県教育委員会 産学連携地域活性化事業

事業概要説明

①県立高校と商工会との協働による地域活性化に向けた取組

県教育委員会が指定した3校において、キャリア教育に関するプログラムを地域の商工会・商工会議所と連携して進めることにより、高校生の地域への愛着を深めさせるとともに、地域産業を担う人材の育成を図るものです。

②地域産業を支える人材の採用に向けた取組

県立高校の生徒・教員と地域の商工会会員企業とのマッチングフェアを開催することにより、高校生の地域への愛着を深めたり、地域産業への興味を喚起するものです。昨年度2エリアから今年度は5エリアに開催地が拡大しました。

いずれの取組についても、アスクネットがコーディネートを行うことで、学校側・産業界側それぞれの要望をうまく掛け合わせ、プログラムの実施を行いました。

①参加生徒

67名

(指定校3校)

②参加生徒

153名

(5エリア)

<県立高校と商工会の協働による地域活性化に向けた取組>

■愛知県立常滑高等学校

常滑商工会議所と連携し、2年生を対象とした企業インタビューを行いました（企業1社／生徒9名）。

■愛知県立守山高等学校

春日井商工会議所および瀬戸商工会議所と連携し、2～3年生企業連携コースの生徒に対して「PBL型の授業」を行いました（企業4社／生徒48名）。

■愛知県立佐屋高等学校

愛西市商工会と連携し、ベジタブルコースの生徒に対して「商品開発」をテーマに講座を行いました（企業1社／生徒10名）。



<地域産業を支える人材の採用に向けた取組（Career Discovery）>

■参加生徒の感想

- ・すべての企業から、地元が好きというのが伝わってきました。企業のことでなく、高校生へのメッセージも一緒に伝えてくれたのが、今職業について考えている自分にとって、ありがたかったです。
- ・企業が地域とのかかわりを大切にしているのが印象的だったので、自分が働くとき、その周辺の地域に貢献できるような仕事をしたいと思いました。



担当者所感



加藤 淳子

今年度「地域産業を支える人材の採用に向けた取組」は、昨年度の2エリアから5エリアに拡大実施となりました。昨年度の反省点から1社あたりの生徒人数を絞ったことで、企業と高校生のコミュニケーションが生まれやすい環境ができ、活発な場となりました。

単に就職のためのマッチングを目指す合同説明会とは異なり、ロールモデルとなる企業の方の想いをお伝えいただくことで、高校生が自らの生き方、あり方を考えるきっかけになればと思います。また、そのような仕掛けを作ることができるのが、アスクネットがこの事業に関わる意味なのではないかと思っています。

キャリア教育コーディネーター育成事業 (教育Reformセッション「ENGINE」)

事業概要説明

教育に関わっている方、関わっていない方関係なく、どのような世代・所属の方も、教育に関心を持つ方が「繋がり合い、一歩踏み出す」場を目指し開催しているのが、教育Reformセッション「ENGINE」です。

2024年度は、昨年度に引き続き名古屋・東京・関西の3会場での開催をすることができました。

当日は、どの会場でもゲストや講師の方から情報を得るだけではなく、参加者の皆さまも一緒に、教育に関するご自身の活動や想いを語り合っていました。それぞれのフィールドでこれからの教育をどう良くしていくか、ゲスト、参加者関係なく一緒に考えていきました。

<名古屋会場 Vol.5 実施概要>

■日程：2024年5月26日（日）10：00～16：30

■会場：名古屋市立大学 田辺通キャンパス

■基調講演：

・中邑 賢龍さん（東京大学先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー）
インクルーシブな学びの場をどう創るか？

■分科会

- ・鷺見 佐知さん（岐阜市立草潤中学校 校長）
「子どもたちのありのまま岐阜市立草潤中学校 校長まを受け入れる ～草潤中学校が目指す学びの多様化とは～」
- ・田畑 栄一さん（一般社団法人 Laughter 教育コンサルタント）
「教育漫才で『温かい笑い』を生み出す ～『いじめ、不登校、自殺を予防する関係性』をつくりませんか？～」
- ・奥村 好美さん（京都大学大学院 教育学研究科 准教授）
「深い学びを実現する「パフォーマンス評価」の考え方と進め方」
- ・塩崎 孝太郎さん（株式会社クボタ）／東 杏美さん（名古屋市立中学校キャリアナビゲーター）
キャリアコンサルタントと学校との協働 ～学内・学外から見た学校～
- ・山内 敏之さん（前 名古屋市立山吹小学校 校長）
「すべての子どもたちが目を輝かせる学校づくり～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現をめざして～」
- ・前田 健志さん（合同会社楽しい学校コンサルタントSecond代表）
「楽しい学びと楽しくない学びって何が違う？子どもも大人も楽しい学びとは？」
- ・伊木 ロドリゴさん（豊橋市立東陽中学校 教諭）
「外から見える理想の日本～ブラジル人教師・ロド先生の格闘と夢～」
- ・本間 莉恵さん（北海道下川町教育委員会 地域学校協働コーディネーター）
「3000人のまちで取り組む「地域共育」～地域と学校をつなぎ、幼小中高をつなぐ～」

2024.5.26
名古屋会場
(第5回)
97名

2025.2.15
関西会場
(第2回)
46名

2025.3.2
東京会場
(第3回)
95名



<関西会場 Vol.2 実施概要>

■日程：2025年2月15日（土）10：00～16：30

■会場：園田学園女子大学

■基調講演：

佐々木 昭弘さん（筑波大学附属小学校 校長）

「主体性を育む教育～学校は楽しいところじゃない、楽しくするところだ～」

■分科会：

・菊井 雅志さん（京都府教育庁指導部学校教育課 総括指導主事）

「立場の垣根を越えて正解のない問いを考える～キャリア教育の視点を共通項に学校現場と教育行政を捉えなおす～」

・里見 拓也さん（大阪市立佃中学校）

「チームの心理的安全性の高め方～対話による組織作りのエッセンスお伝えします！～」

・山陽製紙株式会社&NPO法人JAE

「企業と学校を結ぶコーディネートから広がる可能性～子どもたちの学びと人材育成について～」

・大泉 志保さん（奈良県三宅町 教育長）

「学校が果たす役割とこれから求められる変化～教員・校長・教育委員会を経験して感じていること～」

・小坂 康之さん（福井県立若狭高等学校）

「楽しいから学んだ！～高校の探究学習の実践と見えてきた本質～」

・小見 まいこさん（特定非営利活動法人 みらいずworks 代表理事）

「印刷会社社員が教育NPOを立ち上げた理由とみらいずworksが描く未来



<東京会場 Vol.3 実施概要>

■日程：2025年3月2日（日）10：00～16：45

■会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟

■基調講演：

鈴木 寛さん（東京大学教授）

「学習指導要領はもう不要？ 始まる日本の教育改革」

■分科会：

・荒瀬 克己さん（独立行政法人教職員支援機構理事長）

「何のための探究か？」

・平川 理恵さん（前広島県教育長、昭和女子大学 客員教授 他）

「教育現場のカルチャーシステムを変革する！」

・山田 勝治さん・森 ゆみ子さん（大阪府立西成高等学校）

「生徒の力を引き出す学校 ～大阪府立西成高校の挑戦～」



担当者所感



高田 郁弥

ENGINEプログラムは、アスクネットが掲げる「ともにまなび、ともにつくる」社会の実現に向けて、所属や立場を超えた多様な参加者が集い、共創する場として開催しました。各分野でご活躍の講師陣にご登壇いただき知見を学び、参加者同士の意見交換セッションでは、自身が感じている課題感を共有され、熱のこもった議論が交わされる様子が印象的でした。

ENGINEでの学びや気づきが、参加者の皆さまの現場で具体的なアクションへとつながり、各地域でより良い教育が広がっていくことを期待しております。

キャリア教育コーディネーター育成事業 (キャリア教育コーディネーター育成研修)

事業概要説明

キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会との連携の下、「キャリア教育コーディネーター育成研修」を実施しました。効果的な教育プログラムを学校に提供するために、座学（エントリーコース）と実践（実践コース）の両面から研修を実施しています。

エントリーコース

30名

実践コース

24名



■エントリーコース（キャリア教育実践基礎講習：座学全4回）

キャリア教育コーディネーターの役割や学校教育についてなど、基礎的な事項をワークを交えて学びました。

第1回：キャリア教育コーディネーター概論

第2回：地域でおこなうキャリア教育と教育行政

第3回：児童・生徒等の発達とキャリア教育ではぐくむ力

第4回：キャリア教育のプログラム開発

■実践コース（9月開始、3月終了）

小学校1校、中学校2校、高等学校2校 計5校の協力校において、職業講話のコーディネートを実践しました。学校ヒアリングからご登壇いただく講師の開拓と打合せ、当日の実施支援など、コーディネートの一連の流れを体験していただきました。

全学校での実践が終了した後は振り返り会を実施。個々の学びを受講生全員に広げました。



担当者所感



高田 郁弥

本年度はエントリーコースをオンラインと名古屋会場の2回開催し、延べ30名の方々にご受講いただきました。今年度から導入したオンライン開催により、全国からの参加が可能となりました。

各地域・学校によってコーディネーターに求められる役割は異なりますが、実践コースでは、受講生の皆さまが担当校の特色を踏まえてより良いキャリア教育を創り上げようとする姿勢が大変印象的でした。

アスクネットと志を同じくする「地域と学校をつなぐコーディネーター」が全国各地で増え、それぞれの地域に根差した特色あるキャリア教育がさらに発展していくことを心から願っております。

その他対外活動実績

- 講演・講師等
- 国立大学法人愛知教育大学 キャリア教育論 ゲスト講師
- 愛知県立安城高等学校 総合的な探究の時間「SDGs 探究学習」講師
- 静岡西部四市新規採用職員合同研修 講師
- 名古屋市立大学 現代社会学部「公的扶助論」 ゲスト講師
- 高浜市立南中学校 オリエンテーション 講師
- 愛知県高等学校文化連盟 高校生ボランティア研修交流会 講師
- 名古屋市立大学 公的扶助論 ゲスト講師
- 愛知県社会福祉協議会 令和6年度子どもの学習支援ボランティア養成研修会 講師
- 静岡西部四市新規採用職員合同研修 講師
- 委員等
- NPO法人しずおか共育ネット 理事
- キャリア教育学会 パネリスト
- 子どもの居場所づくり推進会議 委員
- 高浜市立南中学校 学校関係者評価委員
- 文部科学省 消費者教育推進委員会 委員 (2016年～現在)
- 愛知県 まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 専門委員 (2016年～現在)
- 名古屋市教育委員会「教育事務の管理・執行状況の点検・評価」にかかる有識者会議 委員 (2015年～2024年)
- 認定NPO法人カタリバ NPO法人ETIC ユースセンター起業塾 選定委員
- 第4期名古屋市教育振興基本計画策定に係る有識者会議 委員
- 一般社団法人 ジャーニー・ホーム 監事
- 高浜市立南中学校 学校関係者評価委員
- 子どもの居場所作り推進会議 委員

アスクネットメンバー

代表理事	山本和男				
スタッフ	菅原伸二	城取洋二	肥田幹子	山田将人	加藤淳子
	佐々木愛理	桑原都糸子	櫛谷彩乃	山本夢	森聡子
	高田郁弥	杉原恵	仲井達哉	山本綾子	今村祥吾
	榊原杏里紗	水谷早希	真下寛子	松尾拓海	佐々木志穂
	垣見知宏	岡田雅人	平岡里沙子	仁科慶子	曾雌友紀
	粕谷卓司	賀屋博子			
	(2025年4月入職)				
	氏原陽子	岩田知歩			
学習支援専任	石川多恵子	内藤靖子	菊池波子	杉浦有子	福島和成



ASK NET

特定非営利活動法人アスクネット（ASK-NET）

〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町8-5 愛知私学会館東館3階

設立：1999年6月（2001年10月法人格取得）

TEL：052-881-4349

FAX：052-881-5567

MAIL：info@asknet.org

<https://asknet.org>